

曲げ木講習会 第3回

開催日 2010年7月10日(土)午後2時から5時まで

会場 御代田町 村上富朗氏工房

内容 煮沸による曲げ木の実演

参加者数 15名

報告者 牧瀬昌弘

長年、椅子を製作されている村上さんなので、作業を見学しながらお話を聴ける今回の講習会はとても楽しみにしていました。

村上さんの曲げ木は煮沸によるもので、ステンレスの特製容器(180×180×1800mmくらい)をガスコンロ2台に乗せて使用しています。(写真1)

事前の浸水はしないそうで、煮沸時間は8時間ほど。

今日は午前中からあらかじめ用意して下さっていて、すぐに作業にかかりました。

用意していただいた材料はナラ材です。

笠木 20×100×1000 mm 2本

アーム 20×30×1000 mm 4本

ボウ 20×20×1000 mm 6本

まずは笠木の曲げで、合板と木のブロックで出来た幅のあるジグに片方の端を固定して、帯鉄を使わずに人力で曲げて行き、順次もう一人が丸棒とクサビを使って止める。(写真2)

最後に両端をクランプで固定して、このまま1ヶ月程、放置して乾燥させる。

2本やって、1本は目割れして失敗でした。

次にアームとボウにうつり、馬蹄形のジグに材の中央を合わせて、外側にアルミ(2mm厚)の帯鉄を当てて、帯鉄の両端を牽引器具(ウインチ)で同時に引っ張って行く。(写真3、4)

こちらも丸棒とクサビを使って固定する。(写真5)

細かい材料はネジレとジグからの浮き上がりなどに注意して修正する場合もあった。(写真6)

アーム・ボウでは10本中1本のみ割れが出てしまいました。

どちらも材の温度が下がり過ぎないうちに作業を終わらせないといけないとの事です。

帯鉄の使用はかなり有効な感じでした。

曲げ木の作業は午後3時半頃終了。

その後、リビングに移動して村上さんの作品に座ったりしながら雑談になり、私はスクレーパーの使い方や目立ての仕方を見せていただけ大変参考になりました。

午後5時20分工房をおいとまして解散。



1 曲げ木容器



2 笠木の曲げ



3 アームの曲げ



4 ウインチ



5 アームの曲げ



6 アームの曲げ